第 10 講　織豊政権による統一
PART2 織田信長による統一

Chapter 1　信長による畿内・中部地方の統一

目標
信長とほかの戦国大名との明らかな違いは何だろう？
信長が堺を直轄地にしたのはなぜだろう？

1　室町幕府滅亡までの信長

〔1　　　　　　　　〕は**尾張国**出身。

斯波氏の守護代の分家から父の信秀が戦国大名となる。

のち「[〔2　　　　　　　　〕]」の印章を用い，畿内と周辺の統一を進めた。

1560 年　〔3　　　　　　　　　　〕**（尾張国）**（○織田信長 vs **今川義元●**）

1562 年　三河の松平元康（のちの徳川家康）と清洲同盟を結ぶ

1567 年　稲葉山城の戦い（美濃国）（○織田信長 vs 斉藤龍興●）

※美濃を制圧し稲葉山城を**岐阜城**と改称。

尾張の清洲城に続く小牧山城から移り居城とし，城下町の加納に楽市令を発布。

1568 年　畿内を追われていた〔4　　　　　　　　〕を奉じて入京，**15 代将軍**とする

※足利義昭は 13 代将軍義輝の弟。信長は入京の過程で松永久秀を臣下とする。

1569 年　堺の会合衆に 2 万貫の矢銭を要求し直轄地とする

1570 年　**姉川の戦い（近江国）**（○織田・徳川連合軍 vs **浅井長政・朝倉義景●**）

石山戦争〔石山本願寺攻め〕開始**（摂津国）**

※本願寺 11 世顕如〔光佐〕率いる**一向一揆**との争い。

1571 年　**比叡山**〔5　　　　　　〕**焼打ち（近江国）**

※浅井・朝倉連合軍を匿ったため。

1572 年　三方ヶ原の戦い（遠江国）

（●徳川家康・織田の援軍 vs 武田信玄○）

※ 4 か月後に甲斐の武田信玄が病死。

天下布武の印章

1573 年　**15 代将軍義昭を追放**し〔6　　　　　　　　〕**滅亡**

※義昭は備後国鞆の浦で，毛利氏の援助を受け抵抗を続ける。

2　室町幕府滅亡後の信長

1573 年　一乗谷（越前国）で朝倉義景，小谷城（近江国）で浅井長政を滅ぼす

1574 年　**伊勢長島の一向一揆**を平定（伊勢国）

1575 年　〔7　　　　　　　　　〕**（三河国）**（○織田・徳川連合軍 vs **武田勝頼●**）

※多数の足軽鉄砲隊で，武田の騎馬隊を破る。

越前の一向一揆を平定（越前国）

1576 年　琵琶湖畔に〔8　　　　　　　〕の築城を開始（**近江国**，79 年に完成）

※五層七重の**天守閣〔天主〕**を持つ，わが国初の本格的近世的城郭。

1577 年　安土山下町に楽市令を発布

1578 年　越後の上杉謙信が病死

1579 年　安土宗論により日蓮宗を弾圧し京都町衆の団結を阻止

1580 年　**石山戦争終結（摂津国）**（○織田信長 vs **本願寺 11 世顕如●**）

※正親町天皇の仲介により，11 年に及ぶ戦いが終結。

1582 年　**天目山の戦い（甲斐国）**（○織田・徳川連合軍 vs 武田勝頼●）

※甲斐の武田氏を滅ぼす。

本能寺の変（京都）で重臣の〔9　　　　　　　　〕に攻められ自害

※羽柴秀吉の毛利氏討伐の救援に向かう途中。嫡男の信忠も二条御所で戦死。

長篠合戦図屏風

まとめ

信長は，ほかの戦国大名と違い，つねに京都・畿内支配を狙っていた。

信長は，南蛮貿易の拠点で鉄砲の産地であることから堺を直轄地とした。

Chapter 2　織田政権の特色

目標
信長が統一を進めることができた要因を学ぼう。
信長が岐阜城下や安土城下で楽市令を出したのはなぜだろう？

1　信長の統一要因

織田信長

①地理的有利

尾張国（愛知県北西部）は京都にほどよく近く，
肥沃な濃尾平野を抱える。

②優れた軍事力

A ［1　　　　］の長槍隊や鉄砲隊を組織

B 強力な家臣団編成により常備軍を保持

③突出した革新性

伝統的な政治・宗教の秩序・権威を克服。

※新技術の積極的導入，**人材の積極的登用**（明智光秀・羽柴秀吉ら）など。

信長の関係地図

2 信長の経済・宗教政策

①経済政策

A　重要都市の直轄

首都の**京都**や自治都市の〔2　　　〕，琵琶湖畔の大津など。

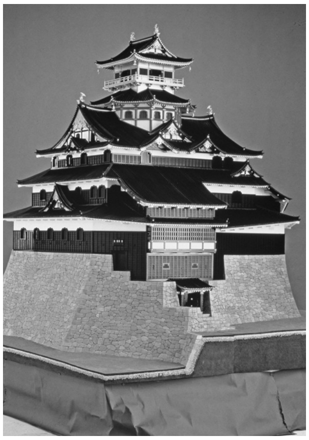
B　〔3　　　　　　　〕**〔楽市・楽座〕**→特定地域の都市・市場の繁栄を目指す

美濃加納（1567年），**安土**山下町（1577年）。

※新興商人の自由な営業活動を目指すとともに，
　普請・伝馬の免除や徳政免除など優遇策をとり，
　商工業の再編とその掌握をはかった。

C　その他

関所の撤廃，撰銭令，指出検地，
城割，倭寇の禁圧など。


安土城復元模型

②宗教政策

A　〔4　　　　〕**の弾圧**

あ　天台宗

比叡山延暦寺焼打ち（1571年）で旧権力を打破。

い　日蓮宗

安土宗論（1579年）で京都の町衆を抑え込む。

う　**浄土真宗→一向一揆**勢力を打倒

石山戦争による石山本願寺攻め（1570～80年），
伊勢長島の一向一揆（1574年），越前の一向一揆（1575年）など。

B　〔5　　　　　　　　　　〕**の保護**

ルイス＝フロイス，オルガンティーノらを保護。

まとめ　織田信長は，本人の能力に加え，尾張国という
地理的有利・優れた軍事力・突出した革新性を駆使して統一を進めた。
信長は，都市・市場の繁栄を目指し，城下町に楽市令を出した。

第10講 PART 2 確認問題

1 1560 年の桶狭間の戦いで，織田信長が破った戦国大名はだれか。

① 浅井長政　② 斉藤龍興
③ 今川義元　④ 武田信玄

2 織田信長が京都から追放し，室町幕府を滅ぼしたときの将軍はだれか。

① 足利義昭　② 足利義輝
③ 足利義政　④ 足利義視

3 1582 年，甲斐国の武田氏が織田・徳川連合軍に滅ぼされた戦いはどれか。

① 長篠の戦い　② 石山戦争
③ 姉川の戦い　④ 天目山の戦い

4 本能寺の変を起こして，織田信長を敗死させた信長重臣はだれか。

① 柴田勝家　② 朝倉義景
③ 浅井長政　④ 明智光秀

5 織田信長の出身国はどこか。

① 近江国　② 遠江国
③ 尾張国　④ 美濃国

6 織田信長が直轄領とした都市はどれか。

① 博多　② 堺
③ 長崎　④ 敦賀

7 織田信長が 1577 年に楽市令を出したのはどこか。

① 小谷城下町　② 安土山下町
③ 美濃加納　④ 比叡山坂本

8 次の出来事のうち，織田信長が仏教を弾圧するために行った
終結するまで 11 年かかったのはどれか。

① 石山戦争　② 比叡山延暦寺焼打ち
③ 越前の一向一揆　④ 伊勢長島の一向一揆

第10講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：③　**桶狭間の戦い**で織田信長に敗れた今川義元は，駿河国および遠江国の守護大名・戦国大名。

2 解答：①　室町幕府が滅ぼされた後，**足利義昭**は備後国鞆の浦で，毛利氏の援助を受け抵抗を続けた。

3 解答：④　①の**長篠の戦い**は 1575 年に起こった織田・徳川の連合軍が多数の足軽鉄砲隊で武田の騎馬隊を破った戦い。②**石山戦争**は 1570 年に起こった織田信長の石山本願寺攻めのこと。③**姉川の戦い**は 1570 年に起こった織田・徳川の連合軍が浅井長政・朝倉義景に勝利した戦い。

4 解答：④　織田信長は羽柴秀吉の毛利氏討伐の救援に向かう途中，**本能寺の変**で敗死した。

5 解答：③　**尾張国**（愛知県北西部）は京都にほどよく近く，肥沃な濃尾平野を抱えていたことから地理的に有利で，信長の統一要因の一つとなった。

6 解答：②　堺は自治都市で，ほかに首都の**京都**や琵琶湖畔の大津なども直轄領とした。

7 解答：②　③の美濃加納には 1567 年に**楽市令**を出した。

8 解答：①　**石山戦争**は本願寺 11 世顕如との戦いで，正親町天皇の仲介により終結した。